

夏のオリーブ栽培

梅雨、日照り、台風。
天候が変わりやすい夏、
栽培のポイントをまとめました。

水やり

- ・葉が丸まったように巻いてきた ⇒ 水不足の合図
- ・実がしぼんできた



夏は、オリーブの実が少しずつ大きくなる時期です。
葉や実の状態をよく観察しながら、
1週間～10日程度晴れの日が続いたら、
たっぷりと水やりをしましょう。
鉢植えで育てている場合には、こまめな水やりが必要です。

← 水不足によりしぼんできたオリーブの実

施肥

- ・6月に夏肥を実施していない人は、
施肥をしましょう



化成肥料（推奨：ひろしまフルーツBB濃縮300）*JAで販売

◆結実初期（植えつけ後4～9年）

施肥時期	施肥区分	肥料名	単位:g/本 施用量(g)
3月～4月	春肥		400
6月中旬	夏肥	ひろしまフルーツ 濃縮300	250
10月下旬	秋肥		250

◆成木（植えつけ後10年以上）

施肥時期	施肥区分	肥料名	単位:g/本 施用量(g)
3月～4月	春肥		1,300
6月中旬	夏肥	ひろしまフルーツ 濃縮300	700
10月下旬	秋肥		700

除草

- ・根元のまわりをしっかりと除草しましょう
根元に草があると、オリーブアナアキゾウムシなどが発生しやすくなります。

支柱の見直し

- ・台風などで倒木しないように、
支柱を見直しておきましょう



オリーブの根は浅く、横に広がると言われています。
そのため、強い風に弱く、支柱が大切な役割を担います。
台風がきて倒れてしまう木がないように、支柱を見直しておきましょう。

★ポイント★

- ・支柱と木の結束点をなるべく高い位置にしておきましょう。
- ・支柱設置に使用できる補助金制度があります。詳しくはオリーブ振興室まで。

▼8月下旬実施（①②ともに樹全体に散布します）

- ①炭そ病対策 ⇒ アミスター10フロアブル（1,000倍）
- ②ゾウムシ対策 ⇒ ダントツ水溶剤（2,000倍）

★防除を実施した際には必ず日付と内容をメモしておきましょう

防除・農薬

栽培者訪問

官民が一体となってオリーブ振興に取り組んでいる江田島市。
市民栽培者さんをご紹介します。

はまだ としひさ
浜田 寿久さん（能美町鹿川）

平成26年から栽培を始めた浜田さん。
今では約50本のオリーブを栽培されています。
遊ばせてしまっていた畑に、「ただ草刈りばかり
しているのではもったいないから」とオリーブ栽
培に挑戦。昨年の秋には、初めての収穫も体験し
ました。
浜田さんの園地の近くには、浜田さんと同級生
の角本さんのオリーブ畑があります。同級生同士、
頻りに園地を訪ね合い、意見交換しながら栽培に
チャレンジされている様子は、江田島市ならではの
取り組みですね。
今年の秋には、昨年以上の収穫が期待されます。



意見交換する浜田さん（右）と小山内さん（左）



浜田さん（左）と峰尾さん（右）



今年度、浜田さんの園地を「モデル的オリーブ園地」と
し、県の農業技術センター職員とオリーブ振興協議会が
連携しながら巡回指導を行っていきます。収穫量、樹高、
幹の太さや土壌成分の変化などを調査していきます。

栽培暦と栽培日誌

作業をしたら記録をつけましょう



オリーブ振興室でお配りしています。
・オリーブ栽培暦
・栽培日誌

必要な方は市役所本庁3階までお越しください。

相談室

オリーブ栽培に関するご相談はオリーブ振興室まで。
どうぞお気軽にお電話ください。☎0823-43-1643